

宝林宝樹

(36)

「疑心あることなし」

あれごらん親に抱かれて寝る赤児

落ちる落ちぬの心配なし



この歌は、神戸市の稲垣瑞剣師が詠まれました。このような光景がめつきり少なくなりりましたが、お母さんにおんぶされた赤ちゃんの姿は理屈なしの「おまかせ」です。お母さんにしがみつくこともなく、両手を外に出して、スヤスヤと寝ています。因みに、私は高所恐怖症です。飛行機に乗ることはありましたが、機内で眠ったことはありません。不安なのです。まかせきれてないのです。

先の歌は、真宗のよろこびを味わう尊いうたです。

阿弥陀さまのたしかな名号が私に至り届けられる時、私の先行き、心配は無用です。「疑心あることなし。これを聞といふ」  
ようこそのお念仏です。

宝林宝樹

(36)

「疑心あることなし」

あれごらん親に抱かれて寝る赤児

落ちる落ちぬの心配なし



この歌は、神戸市の稲垣瑞剣師が詠まれました。このような光景がめつきり少なくなりりましたが、お母さんにおんぶされた赤ちゃんの姿は理屈なしの「おまかせ」です。お母さんにしがみつくこともなく、両手を外に出して、スヤスヤと寝ています。因みに、私は高所恐怖症です。飛行機に乗ることはありましたが、機内で眠ったことはありません。不安なのです。まかせきれてないのです。

先の歌は、真宗のよろこびを味わう尊いうたです。

阿弥陀さまのたしかな名号が私に至り届けられる時、私の先行き、心配は無用です。「疑心あることなし。これを聞といふ」  
ようこそのお念仏です。